

## 浅海地区タウンミーティング(要約)

平成26年4月19日(土曜日)

【市長】 皆様こんにちは。今日は休日でございます。お昼ですから何もなかったら家でゆっくりされている方もいらっしゃるかもしれませんが、このようにタウンミーティングに多くの方にお集まりいただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、浅海地区区長会の会長をはじめ役員の皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。このタウンミーティングですけれども、どっちが楽かという話をすると、市役所で待っているのと我々が出向かせていただくのと、どっちが楽かという市役所で待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのだろうか。松山市は旧の松山市、旧の北条市、旧の中島町を合わせて41地区に分かれます。その地区ごとに課題の点とかお困りの点とか、また逆に魅力があると思います。そういうのを我々が市役所にいるのではなくて、我々から出向かせていただいて、そして皆様の声を聞かせていただいて、そしてできることから市政に反映していこうということでタウンミーティングを始めました。パフォーマンスとかガス抜きのためにタウンミーティングをやっているわけではありません。ガス抜きとかパフォーマンスのためだったら1巡で終わっていたと思うんですけども、41地区の全部を回り終えまして、2巡目に入っているところです。浅海のタウンミーティングはちょうど2年前に行い2回目になります。前回のタウンミーティングでは、この浅海は以前は果物の梨の栽培が盛んだったこと、浅海小学校の校歌にそれが残っていること、また校章にも残っている話を伺いました。また、タウンミーティングの特徴ですが、皆さんからご意見をいただき、できるだけここで答えられるものはお答えをして帰りますけれども、中には国と絡む案件とか県と絡む案件とか財政的な問題があるものについては、いったん持ち帰らせていただいて、聞きっぱなし、やりっぱなしにするのではなくて、1カ月を目途に必ず地区にお答えを返すのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。今日は多数の子どもさんも来られていますけれども、90分間あります。肩ひじ張って緊張しているとしんどくなってしまいますので、前向きな議論ができればと思いますので、あまり緊張なさらずに今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【小学生】 浅海小学校6年です。昔あったあさなみマートをまた復活してほしいことです。理由は、駅の近くでお年寄りの方に歩いて行けて近いし、車を使ってスーパーに行かなくてもいいので、ガスの排出量も減るの

でいいかなと思っての理由です。

【市長】 しっかりしているね。最初に立派だと思います。最初に意見を発表するのは、とっても勇気がいったと思います。また、えらいなと思ったのは、今は、やっぱり環境のことについて、学校で授業もするんですね。本人も意識しているのか、排気ガスのことも考えているんですね。私も、もともと実家は北条の南中学校のそばなので、あさなみマートもわかりますよ。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野でございます。ご質問ありがとうございます。昔にあった店舗が閉鎖されたりしてお困りというのは、非常に私どもとしても理解をしております。色んなご商売をなされる方が集まれる会合のときには、機会あるごとに出店する場所が市内全体でもいろいろありますので、できるだけ出店をお願いしています。一方で出店は、やはりご商売ですので採算性というか、お金がちゃんと儲かって事業が成り立っていくかどうか非常に重要なことになってきます。ですので、今後も地域の方のご意見などを踏まえながら、事業者の方へ働きかけを行っていきたくと思います。できれば、私どもとしてはせつかく地域の昔からあった商業施設ですので、地元の方にまたご商売を始めたいということができればいいなと思っておりますが、そうした新たに商売を始めようというお気持ちがある方がいらっしゃったら、始めるための資金をお貸しすることもできますし、そして資金を借り入れたら利子がつくんですけれども、その利子について補助金を出す制度を松山市は持っていますので、そうした方がいらっしゃったらご相談をいただいたらと思います。担当課は、産業経済部地域経済課ですので、そちらにお問い合わせいただいたらと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 すごい大事なことなんよ。地域にお店があるのは、つながりをつくることになるので、すごく大事なことだと思っております。松山市役所も出店しませんかとお声はかけているところです。お店が何でつながりになるかという、おじいちゃんおばあちゃんが例えば一人暮らしをされているとするでしょう。お買い物をしよと思って近くにお店があると、おじいちゃんおばあちゃんも歩いて行けるよね。歩いて行ってそのお店の人とお話をしますよね。あそこのおじいちゃんおばあちゃん今日は元気だとか、また、体調が悪いときは、あそこのおじいちゃんおばあちゃん体調が悪いぞとかわかりますよね。やっぱりつながりがあると、おじいちゃんおばあちゃんの福祉のことも、みんなの子育てのこともいいんよ。その近所の子が見知らぬ人に声をかけられとったら、何か危ないんじゃないかなろうかとか、防犯の面でもいいんよ。防犯のことにしても子育てが大変なときに

手伝ってほしいなというので、つながりがあったら助かるんよ。つながりってすごく大事だから、まちにお店があることはとても大事なんです。今、言ったように働きかけもするし、出店するときのお金を補助するとか、利子を補助する制度も設けています。すごくいい質問をありがとうございました。

【小学生】 浅海小6年です。浅海小の前には三角花壇があります。その場所にはたくさんの花があって、とてもきれいです。松山市から種や球根をもらっていると先生から聞きました。ありがとうございました。僕も去年植えて植えるのは楽しかったし、きれいに花が咲いてうれしかったです。ありがとうございました。それで僕の意見は、浅海には食料などを買う場所が少ないので、コンビニなどをつくってほしいです。理由は、浅海はお年寄りの方が多くて、買いに行くにも時間がかかるので、遠くに行かずに近くでも食材などが買えたら、浅海がもっと便利になると思うので、つくってもらったらいいと思います。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野でございます。ご質問ありがとうございます。おっしゃるとおりコンビニエンスストアが近くにあると非常に助かると私どもも思っています。先ほども申し上げたように色々な機会を通じて要請してはいますが、なかなかコンビニを運営されている方がご出店いただけない状況にあると思います。ただ、買い物をされる環境が難しい状況にあるのは、松山市としてもいろいろ対策を講じようと思っておりますけれども、国でもそういった状況に対して、いろいろ支援の制度を設けており、例えば宅配サービスをハトマートさんで実施をされているようですけれども、最近は国の補助制度もございますので、これを利用していくために地域の方でお話し合いをしていただいて、そしてご要望があれば、地域経済課にご相談いただいて、支援が受けられる対策を講じていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【男性】 浅海地区には、水門が7カ所くらいあるんです。その中で1カ所か2カ所は手動から自動になっているんです。ほかの水門は手動で、この高齢になってから閉めたり開けたりは、ちょっとしんどいと思うんです。それで、自動にはならないのか、そういう配慮を聞きたいんですけど。

【市長】 わかりました。ご要望を伺って、なるほどなと思います。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野でございます。冒頭、市長から新畑海岸あたりの水門に関しまして、ごみを取り除くための工事を今年度させていただくと申し上げたように、いろいろ地域の方で要望書をご提出いただきましたら、それぞれ現地を確認させていただいて、できるところから対応させていただけるものについては、現状を確認しながらやら

せていただきたいと考えております。その水門に関しましても、海岸のところは漁港施設の区域内でございしますが、水門の位置や場所などによって所管課が変わる場合がございますので、場所をこの後でも結構ですので、お教えいただきましたら担当課につながっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】 7カ所あって、何カ所が今手動のままで、自動が何カ所ぐらいかおわかりになりますか。

【男性】 2カ所が自動になっていると思うんです。あとは手動で。

【市長】 なるほど、わかりました。どういう具合なのか、ちゃんと1カ月を目途に回答させていただきます。ありがとうございます。

【小学生】 浅海小学校6年です。今、浅海小学校はウサギ小屋を新しくつくってくれています。ありがとうございます。フェンスを囲ってウサギを抱いたり遊んだりする場所もできるそうなので、すごく楽しみです。浅海がこんなふうになったらいいということは、津波が来たらすぐに逃げられる場所や道を二つか三つ、つくってほしいということです。

【市長】 はい、わかりました。まず、私から津波のことですが、ちょっと冒頭の説明もさせていただきましたが、人間泳いでいるときの話をすると、泳いでいて足がつかないと不安ですけど、足がついたら安心しますよね。きちっとした数値を出しましょうということで、標高マップシステムとか地元の方と協力いただいて標高表示板を出しています。皆さん正しく恐れていただくことが大事です。正しく恐れてしっかり備えていただくことが大事です。皆さん平成23年3月11日の地震のときの映像を皆さんご覧になって、大変怖い思いをされたと思いますけれども、東日本の東北のように、たちまちすぐに津波が来るわけではなくて、想定されている南海トラフの大地震は、高知県沖の太平洋が震源で回ってくる形になりますので、津波の第一波が来るまでは2時間弱になります。2時間あればかなりの距離を逃げることができますので、たちまち津波が来るんだとは思わないでいただきたい。正しく恐れることが大事です。津波のスピードは、海の深さに大いに関係があります。太平洋は瀬戸内海と比べていきなり深くなります。瀬戸内海は太平洋と比べてかなり浅いです。ですから、地震の速度もかなり変わってきますので、あの東日本大震災のような津波がいきなり来るわけではないというのを、皆さんに知っていただきたいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課の川口でございます。よろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございます。道路の整備について、一般的なことについてですけれども、ご説明させていただければと思います。浅海地

区の特に海岸に近い住宅が密集しているところですが、かなり道路が狭いところもございまして、道路整備をするためには土地とか家とかブロック塀を提供していただくとか、壊させていただいて広げるとか、用地も提供していただかないと広がらない現状がございまして、まずは地域の方でご相談いただいて、要望書を提出いただいて、検討させていただいたと思いますので、よろしく願いをいたします。

【市長】 浅海難波線をさっき言うたように広くする工事、通りやすくする工事などを行っています。国が持っている道を国道といいます。県が持っている道を県道といいます。松山市が持っている道を市道といいます。「しどう」というのはもう1個あって個人が持っている道も私道といいます。今、国道は、ちょっと残念なところはあったんですけれども、国道の沿岸にガードレールを高くする工事を国がやりました。今日、私、見てきたんですが、市民の皆さんから県知事や市長に対してあの工事はひどいんじゃないかというメールがきまして、私も対応させていただいて、あれは国の松山河川国道事務所がやった工事ですけど、ちょっとあまりにも景色が見えなくなりすぎているんじゃないですか。久しぶりに通って、ちょっと見やすくなったのかと感じたんですけど、ガードレールは変わったんですかね。

【男性】 高くなって、その上にまだガードレールがあるんです。前は低かったんです。今の高さやったらあんまり影響ないですから、あれは抜いたほうがいいです。

【市長】 国土交通省の回答で、年何回かある越波で道路をとめることがあるので、工事をさせていただいたということがあり、国が工事をした状況でしたけれども、景色が見にくくなったのは、松山市としても残念だったなと思います。いろいろと今、工事を行っているところですが、海岸線だけじゃなくて、浅海難波線の工事も進めていきたいと思っています。

【男性】 浅海の区長会長でございます。今日は、松山市の北の果ての地の浅海まで市長さんをはじめ、市の幹部の方に来ていただいて本当にありがとうございます。先ほど市長さんから言われました浅海難波線も昨年度に着工されまして一部完成しております。浅海海岸線の待避所も昨年度に完成しております。ありがとうございます。もう一つお願いがありまして、浅海は原側と本谷側と昔から二つに分かれていまして、小学校や公民館が境ぐらいのところになります。原側と本谷が仲良くやっているんですが、残念ながら原と本谷を結ぶ道が国道1本しかない非常に不便な道路状況です。ほかの松山市のどこの校区を見ても、各地区を結ぶ道路が2車線

以上、あるいは広い道が何本も通っていくつも行き方があるんですが、残念ながら浅海は国道1本しかないので、ぜひとももう1本市道をつけていただきたいと思います。別に大きな市道を新設しなくても、本谷側から小学校までは上がる道が5メートルの道が新設されておりますので、小学校から原側に降りる道の300メートル、200メートルぐらいを延長していただければ、非常に浅海も、原から本谷も交通の便が良くなって、より一層コミュニティが豊かになるんじゃないかとみんな思っております。ぜひ、検討をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。先ほどと同じような回答になると思うんですけども、ルートは松山市で決めさせていただくのではなくて、地元でご協議をしていただきまして、用地など提供していただかないと拡張などできませんので、まずは、地元でご相談いただきまして、担当課が道路建設課になりますけれども、ご相談いただきましたら、職員が調査にもまいりますので、よろしく願いをしたいと思います。

【市長】 お子さんもいらっしゃるので、わかりやすく道のことについてお話をさせていただきます。道を広げてほしいという案件の難しさですけれども、道を広げようと思ったら、大体、道のそばにはお家が建っています。個人の家が建っていたり、個人の持っている土地があるんです。道を広げようと思ったら、下がってもらうのにまず納得してもらわないといけないのと、そこを買わせてもらうことに納得してもらわないといけないんです。そういう難しさがあるんです。ある人はオッケーで、ある人は売れないってなったら、でこぼこの幅の道ができちゃうでしょ。それが、なかなか道が広がらない理由になります。ですので、要望書を地区の人からいただいてという形になります。また、道のそばに溝があるところがありますが、溝を蓋してくれたら道が広がるのに、安全になるのにということがありますが、道の横の水路は、大体、農業関係の人が使っていることが多いんです。農業関係の人からすると、蓋してしまうといざ物が詰まったときの掃除がしにくくなるから、蓋はせんってほしいという意見が結構出るんです。蓋をしたら道が広がり落ちたりしなくなり、危なくないけれども、蓋をしてしまうと掃除が難しくなるという意見もあって、みんなの意見を聞きながらやっていくという形です。でも、ご理解いただけたら広げたりとか、子どもが危ないようなことではいけない、おじいちゃんやおばあちゃんが危ないことではいけないので、できるところはガードレールをつくるとか、わりやすくするとか、そんなハード対策とかソフト対策をやっているところです。

【男性】 山間部にあります萩原区の区長です。2点お願いしたいことが

ありまして、市道に関する話です。ご存じのように今治市の野間から萩原の県道に向かったの道路が農免道路です。ほぼ90パーセント完成しております。一部菊間町高田の部分が26年度でほぼできると聞いています。それにアクセスする県道が萩原に通っておりますが、それも県の説明では2次緊急道路に昇格したので、当初の25年から10数年でできるんじゃないかと話をいただきました。ここからが本題ですけれども、その県道にアクセスする市道が2本あります。1本は萩原立岩線、ゴルフ場が途中にありますけれども、チサンカントリークラブの道路までの道路の舗装面がかなり傷んでおります。これも申請書を上げていこうと思っておりますけれども、早急にご検討をいただきたい。もう一つは、難波境の峠のところにサンセットヒルズというゴルフ場がありますけれども、その進入道路の件、たぶんご存じだろうと思っておりますけれども、3年後に国体のコースに決まっております。ゴルフ場から進入道路の改良申請が市に出ていると思うんです。これも3年しかありませんので、早急に計画して着工できるような形の依頼をしていきたい。この2点をお願いしたいと思っております。

【市長】 道路の補修は、市道であれば補修するのは簡単なことじゃないかな。要望書も要らないですよ。

【都市政策課長】 はい、市道は松山市が管理するのは当たり前のことですので、安全に管理できるように情報をいただきましたので、早急に対応させていただきたいと思っております。

【市長】 地図を持ってきていますので、地図でこの辺と言ってもらったら早速、対応いたします。

【都市政策課長】 2点目の件ですけれども、私も実際に話があったときに現場を見させていただきましたが、あそこは市道ではないんです。農道があったり、個人の道路があったりするところがありまして、難しいところがあるんですけれども、ゴルフ場から整備させてほしいという話も伺っておりますので、話を詰めていきたいと考えております。国体までには形にしたいと考えております。また、ご報告させていただけたらと思っております。

【男性】 私は風早地域の問題について、ちょっとお願いしたいことがございます。実は、高縄山頂に婦人用の洋式トイレをお願いできたらというのが高齢クラブの要望でございます。このところ、高縄山は奥道後自然公園の関係もあったり、あるいは「河野氏まつり」などの各イベントもございまして、小中学校の屋外研修とか遠足、あるいは高齢者関連の歴史探究とか観光目的で高齢者も結構高縄山に上がるケースが増加しております。そういう中で、洋式のトイレがあればいいなという要望が各地域にも風早地域にはあると聞いています。それと、2年前にここでタウンミーティン

グがあったときに、立岩の小学生からもお願いがあった「風早八十八ヶ所」の記念スタンプの制定、それからこのスタンプ台を要望の中で早速していただいて、皆さん重宝しています。これが起爆剤になりまして、風早歴史研究会が行政だけに頼るのではなく、我々でできることはないのかということで、「風早八十八ヶ所」を色んな古文書とか地元の人たちから言い伝えを聞いて、それを冊子につくったわけです。風早地域の歴史に光が当たればいいなということで4月の初めにできました。ぜひ市長さんに進呈していただきたいと会長から持ってきましたので、ひとつよろしくお願います。明日、「瀬戸内しまのわ2014」のイベントウォーキングをふるさと館から正岡地区のこの88カ所を中心にして回る予定にしております。広島からも結構参加があるんです。高縄寺も12番になっておりますので、そういう人たちも上がっていくし、高齢者の方も行く。婦人用の洋式トイレがないと今の高齢者は、和式ではちょっと無理です。そういうことで、できたら検討していただきたいということでもよろしくお願います。

【市長】 私、就任させていただいて、高縄山のトイレのことについて、直接お話をいただきましたので対応させていただきました。状況を見させていただいたら、皆さん上がられたことも多いと思いますが、高縄山の山頂付近ですけれども、高縄寺の以前からのトイレがあります。やはり、古いトイレですから和式になります。そのトイレを利用されている状況がありました。この高縄寺はどういう距離感にあるかということ、駐車場があって、そこから徒歩5分のところに高縄寺がある。そして駐車場から車で3分のところに県がつくった高縄山総合作業所がありまして、結構新しいです。洋式トイレが完備されています。木でしっかりつくられた新しい大きなトイレです。高縄寺にいつまでも頼るわけにもいけませんので、松山市として、新しく高縄山の山頂付近にトイレをつくることを検討したんですが、まず、トイレですから流す水が要ります。その流す水をどうするかという水脈の関係。そして、用を足した後の汚れた水をどう処理するのかで、大変ハードルが高くなりまして、実際にやろうと思ったら、かなり多額の経費がかかるのがわかりました。ですので、改めてこの高縄山の総合作業所に皆さん歩いて下から上がってくる方は少ないので、車で上がってくる方がほとんどなので、この駐車場のところに看板を設置いたしまして、高縄山の総合作業所にトイレがありますので、こちらをできたらご利用くださいという形で、今、進めているところです。かねてから地元の要望があります。県立自然公園内の規制とか、給水排水の問題がありますので、費用対効果を含めて研究をしているところです。とりあえず、今のところは、

立派な県がつくった大きな洋式トイレもありますので、こちらを利用していただけるように看板などもつくって、わりやすくしているところですので、できたら、こちらを利用していただいて、また、費用対効果を検討というところでございます。先ほど言っていた、88カ所のスタンプラリーについては、立岩でタウンミーティングをやりましたときに、立岩小学校の子たちから88カ所のスタンプラリーがあったんだそうですけれども、あれを復活させてくださいということで、やっぱり歩いて健康になっていただくことは大事なことです、スタンプラリーを復活させていただきました。できることから市政に反映していきたいと思います。子どもたちがちょっと退屈したかなという様子が見えたので、前回のタウンミーティングでありました、柑橘をちゃんとセールスしてほしいという、松山市長がセールスをしている様子をちょっと見てみていただけたらと思います。松山市のホームページで動画情報があります。市民の皆様へお願いというのは、松山市7年連続でごみが日本一少ないまちを記録しているんですけども、2位とすごく迫ってきていまして、1円玉2枚分しか差がなくなってきたんです。ですから、皆さんにより一層のごみの削減をお願いしますというお願いを入れておりますが、その松山市の動画チャンネルというところを選んでいただく。それでは、「せとか」のセールスをしているところを見ていただきましょうか。大体12月に「紅マドンナ」ができます。東京の立派な果物専門店にいったらサイズの大きなものだったら1個2,000円ぐらいするんです。すごいですね。この「せとか」は1月ぐらいにできます。サイズによっては、1個1,000円とか1,500円ぐらいします。それだけ一生懸命農業されている方が手間暇かけてつくっています。大田市場に行くと、競り人たちが値段決めて、果物屋さんやデパートにこの「せとか」が行くんですけど、競り人たちに、「こんなにして一生懸命松山の人が柑橘つくっているんだな」と感じてもらえると、高い値段を納得してつけてくれるんです。そうすると農家の人の収入も増えるのでこういうセールスをやっています。それでは、3分ぐらいセールスをしているのをご覧いただけらと思います。今年の1月17日です。

(HP視聴)

最初にいい値段をつけていただくと、そのシーズンはいい値段で引っ張ることができます。でも最初に悪い値段がついてしまうと、悪い値段で引っ張られることになるので、最初の時期に行ってセールスをするのを「紅マドンナ」、「せとか」、「カラマンダリン」、松山農林水産物ブランド8種類認定していますけれども、そのうちの柑橘は三つ、「カラマンダリン」の

収穫のシーズンがもう始まりまして、東京の大田市場は6時ぐらいからやっています。日本で一番の市場ですけど、ああいうところでいい値段をつけていただくことが大事というのでやっています。また、こういうのを続けていこうと思いますので、よろしく願います。

【女性】 失礼します。よろしく願います。浅海地区の中学生は電車で北条北中に通っています。また、立岩の子どもはバス通で中学に通っています。それで、授業とかが終わりました、バスとか電車の待ち時間ですけど、子どもたちは駅前とか道路端で座って待っていますけど、そういう待ち時間を有効に子どもたちのために使っていただきたいので、児童館の設置をお願いしたいんですけど、北条校区に設置のお願いをしたいと思います。よろしく願います。

【市長】 これは全市的な話になりますので、私からお答えをさせていただきます。毎週金曜日に駅巡り街頭演説といたしまして、JRの駅で松山市内には11駅。伊予鉄道の郊外電車の駅で22駅の合計33駅を巡らせていただく、駅巡り街頭演説をさせていただいております、伊予鉄の松山市駅とJR松山駅が一番人通りが多いんですけど、そこだけでやるんじゃなくて、このタウンミーティングがそうであるように、現場現地に行ったら初めてわかることがある。アイデアがある、工夫もある、苦労もあるというので、現地現場を大切にするというので、行かせていただいております。浅海の駅巡り街頭演説をさせていただいたときに、子どもたちがいっぱい駅にいたので、「どこに行くん？」と聞いたら「北条北中に行きます」と言うので、北中に通っているんだなとわかりました。今日改めて言っていただきましたけども、児童館について述べさせていただきます。子どもたちも児童館が近くに欲しいなと思っておりますが、松山市は41地区に分かれると申しましたが、今、7カ所に児童センター・児童館を置いています。これは全部の地区に児童館を置けたらいいんですけども、なかなかそうもいなくて、各地域のバランスを見ながら東西南北の各方面で核となる施設を設けて、近隣の地域をカバーする形でやっております。計画でさらに1カ所整備を計画しております、今ある施設の距離とか子どもの数など地域のバランスを考えながら、設置場所を選んでいきたいと思っております。これまでのタウンミーティングでも申し上げたんですが、今まである児童館からの距離の観点からすると、旧北条地域は有力な候補地の一つとしてとらえています。今、旧北条地域の各地区からまとまった要望が寄せられています。ですので、旧北条地域の皆様の思いと行政の考えをすり合わせる場を来月から始めたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしく願います。

【男性】 松山市の小竹地区の公民館分館長です。よろしく申し上げます。私、市でやられているかどうかわからないんですけど、空き家対策についてお話をお伺いできたらと思うんですけど、浅海も高齢化が進んだりして空き家がどの地区にも増えてきておりまして、人が住んでいない家がある状況ですので、保安上も問題があるというか今後も増えてくる可能性があります。そういうところで、なかなか後に使うことがありませんので、家をのけるということもしません。税金の関係もあったりしてしません。それを何とか例えば市でそのところを除却をやっていただく、もうすでにあるのかもしれないけど、そういうことをやっていただいて、南予のほうだったと思うんですけど、市で除却してその土地は市のものになると。市に寄付をしてもらう条件でのけると。土地ができますので、その土地を今まで話に出てきたような浅海マートをつくる土地にするとか、みんなが遊ぶ土地にするとか、もう一ついいますと災害にも、そういう管理しない家が残っているということは、それが崩れたりしたら危ないこともありますので、今日も二つあるテーマに全部ちょっとずつかわる話になりますが、その辺について市で何か制度があるのかどうかも含めてお考えと現状を教えていただいたらと思います。よろしくお願ひいたします。

【市長】 はい、わかりました。これは全市的なお話になるので私からお話をさせていただきます。皆さん、空き家でちょっと危ないなと思うところがありましたら、遠慮なく市役所にご連絡いただいたらと思います。現状と今やっていることについて、ちょっと述べさせていただいたらと思いますが、松山市では市民の皆さんから通報いただいたら、実態調査を行わせていただいて、周辺の方々への聞きとりとか登記簿などから所有者・管理者の方を特定して、文書で改善指導を行う。また、定期的に訪問指導させていただく。電話連絡を行うことで事故防止、子どもたちが通行して崩れてけがをしたなんてことがあってはいけませんので、事故防止に努めているところです。この空き家対策の難しいところは、個人の持ち物になるんですよね。個人の持ち物を皆さんからのお金をいただいている市が個人の建物を壊すことにお金を出すのがどうなのかというので、全国どこでもこの空き家対策を悩みながら進めているところです。でも、難しいなと言っているだけではいけないので、今、松山市では条例をつくるべく動いているところです。松山市でも空き家対策に取り組む必要性が高まっています。去年、実は安居島に去年行かせていただいて、安居島の皆さんと意見交換をさせていただいて、どういうことが必要なのか話をさせていただいたときに、安居島も空き家が目立ってきておりました。安居島から帰りまして、関係各課に集まってもらって「空き家対策検討会」をつくり

まして、まず一つ適正管理の方向、そして二つ目、予防有効活用という作業部会をつくって今、懸案事項や現状について調査をしたり検討を行っているところです。まず、適正管理する面では「空き家適正管理条例」をつくるべく今取り組んでいます。そして二つ目、有効活用の面では、定住促進を目的とした愛媛県には「えひめ空き家情報バンク」があるんですが、松山市もそれに積極的に参加をして、中古住宅の流通を促進する。また、情報提供について検討していきたいと考えています。空き家はもともとやっぱり個人の財産です。管理は所有者が行うのが原則ですけども、所有者の協力なしに解決することは難しいので、住民の方々や地域の方々の協力をいただきながら空き家対策については進めていきたいと思っています。現状はこのようになっております。

【男性】 先ほどから災害のことについていろいろお話が出ていると思うんですが、たぶんこの南海地震が来たら浅海は地域的に孤立すると思うんですけど、この浅海に避難所の備蓄がどれぐらいあるのか、もしくはライフラインの確保がちゃんとできているのか。通信とか電気、先ほど子どもが言っていたようにお店がないから食糧の確保とかもちゃんとしてもらわないと、たぶん孤立は避けられない状態だと思うんですけど、その辺を教えてもらいたいと。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢と申します。防災に関するご質問ありがとうございます。まず備蓄ですけれども、今現在、松山市は市内五つの拠点備蓄倉庫がございまして、そちらに食糧を約6万8千食を備蓄しております。それとその備蓄食糧とは別に市内のデパート・スーパー8者と協定を締結しておりまして、その8者が災害時には優先的に避難所に物資を提供していただけることとなっております。ここから一番近い備蓄倉庫は城北支署が馬木にございまして、北部備蓄倉庫に食糧を約2万食ほど備蓄しておりますので、そちらから避難所に配送するようになると思います。それと情報の伝達手段でございますけれども、今、デジタル防災行政無線を松山市は整備をしております、本年度本格的に運用が開始できる見込みとなっております。この浅海地区は7カ所できておりまして、浅海原集会所にもすでに完成しております。このデジタル防災行政無線は双方向通信が避難所となる集会所の無線設備についてはできるようになっておりまして、電気・電話等の通信手段が途絶した場合にも無線を使いまして災害対策本部と連絡がとれるようになっております。このデジタル防災行政無線も東日本大震災を踏まえて、それを教訓に整備を進めておりますので、東日本大震災のときには三日以上電気が途絶した経緯もございまして、すべての防災行政無線に72時間は対応できる内蔵バッテリー

を備え、電気が途絶した場合にも三日間は連絡ができる放送ができるような体制をとって整備しておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

【市長】 今、馬木と聞いて遠いなと思われたかもしれませんが、皆さんが取りに行くようなものではないので、大量の物になりますので、海のほうで難しくなった場合でも浅海難波線を通してトラックでしっかりと避難場所まで届けていく形になろうかと思えます。今、松山市では自主防災組織の核となる防災士を増やそうということで、皆さんの税金を使わせていただいて防災士を増やしてきています。全国の自治体別で唯一松山市が自治体別で2千人を超えています。日本一の数を誇る防災士になっていますけれども、小学校や中学校の先生が、また幼稚園や保育園の先生方は防災士の資格を取ってもらったら、避難場所にもなりますし、子どもたちのそばに防災士がいることになるので、すごく心強いですよね。先生方は忙しいので夏休みだったら試験を受けてもらえるだろうということで、夏休みに受けてもらっています。私もその夏休みに防災士の資格を取らせていただきました。今、松山市はおかげさまで去年、防災まちづくり大賞で消防庁長官賞をいただいたぐらい、防災面では結構進んだ取り組みをしていると思っています。そこで、皆さんにお願いですが、理想は1週間分の水と食糧を皆さんで準備してくださいと言っていますが、1週間分の水と食糧を52万分用意しようと思うと、これは保管場所もまた費用もなかなか大変です。保管場所がとても大変です。ですので、皆様方にお願いしたいのは、ご自分たちで備蓄をしていただくと、並ばなくても1週間分は水や食糧を手に入れることになります。やはり公平にやらないといけませんので、お持ちでない方は並んでもらわないといけません。皆さんでお持ちだったら並ばなくても、やっぱり好みもあると思いますので、好みのものが手に入ることになります。今、国では1週間分の水と食糧をできたら備蓄してくださいと言っていますが、できるだけ備蓄をしていただければそういうメリットもありますので、よろしくお願いたします。私からのお願いですが、防災マップを平成23年の3月に全戸に配布させていただきました。皆さんのご家庭にもあると思います。配布の後、東日本大震災が起こり、新たな想定も出ましたので、新しい防災マップを今年度中に作成してお配りをいたします。でも、前の防災マップが何にも約に立たないかというたらそんなことは全くありませ。愛媛大学の防災研究センターと一緒につくった入魂の防災マップです。例えば、蛍光色をつけていますけれども、この蛍光色の色もあんまり派手かましい色をつけると、目の不自由な方には逆に見にくいということがありましたので、そういうところまで配慮させて色まで決めさせていただいた入魂の防災マップです。役立つ情報がい

っぱいあるんですが、最初の1ページに松山市民にアンケートをとりました。75パーセント、8割の人が何らかの災害に遭うと思っているんだけど、2割の人しか家具の固定防止はしていない。私は去年の夏に防災士の資格を取らせてもらったと言いましたけども、その中で勉強をさせていただいたのですが、家具って実は危ないんです。ものすごく重いです。一人で運べないくらい重いですね。あれが揺すられることによって、体にぶつかる、骨折することも大いに考えられます。当たりどころが悪かったらもっと悪いことになることもある。倒れることによって、いざ避難をしようと思っても避難がかなりしにくくなります。ですので、家具の転倒防止はできるだけ早めにしていただきたい。皆さん災害には遭うんじゃないかなと思いつながら、備えはなかなかできていないのが現状でありますので、冒頭で申し上げたように正しく恐れてしっかり備えることが大事でありますので、正しく恐れてしっかりと備えていただければと思います。お願いいたします。

【小学生】 浅海小学校6年です。僕は、新畑海岸のあたりに季節で楽しめる公園があったらいいと思います。理由はすぐ近くに公園がないからです。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。公園のご要望ですけれども、松山市はなかなか、今、財政的に難しいところがあるんですけれども、この地区には1カ所、味栗公園がございます。海岸ではないんですけども、1カ所だけしかない現状はございますけれども、公園もつくる場合には用地の確保とか必要ですので、地域の方とご相談をさせていただいて、公園はかなり広いスペースが必要ですので、用地の関係とつくるにあたって費用の関係もございますけれども、またご相談をさせていただきたいと思っておりますので、ご要望いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】 味栗公園には家からどれぐらいかかる？歩いて行く？自転車で行く？

【小学生】 歩いて行く。

【市長】 歩いて行くか。歩いて何分ぐらいかけて行く？

【小学生】 20分ぐらい。

【市長】 歩いて20分は遠いな。小学校は歩いて何分ぐらいかかる？

【小学生】 5分から10分ぐらい。

【市長】 小学校は5分から10分か。放課後はグラウンドで小学校で遊んで帰ったりする？

【小学生】 はい。

【市長】 はい、わかりました。小学生の声としてしっかりととらえさせ

ていただきます。ありがとう。ちょっと味栗公園20分は遠いな。

【男性】 今、市道の拡幅の場合は4メートル未満までは地元が用地を提供することになっていると思うんです。それだと浅海も狭い住宅密集地が昔からずっとあって、全然改良が進んでないので、ここは田舎で地価も安いので、松山の中心部とは全然違うんで、例えば住宅密集地は火事でも災害でも遭ったら大変な災害になるから防災用道路をつくるという考えで、例えば平米あたり2万円ぐらいの単価で買収する新しい制度をつくってくれたら何とか浅海の住宅密集地も4メートルの道ができるんじゃないかと思うんです。今だと全部地元が用地提供をしないと道が広がらないという状況ですので、平米2万円ぐらいの買収単価で地権者がもっと出せ言うたら、例えばひょっとしたらその地域であとちょっと足して道を広げるような相談もできるということもありますので、そういう新しい条例を検討してもらいたいと思います。防災用道路の新設ということでお願いします。

【都市政策課】 都市政策課でございます。今、ご意見いただきましたけれども、松山市全体の話もございまして、ほかの地域では言われますように4メートルまでは、地域都市計画区域という区域に入っているところですが、家を建てる時には中心から2メートル後退しなくてはならない地域がほとんどでございますけれども、その地域については4メートルまでは提供いただいている状況ございまして、浅海地区だけローカルの特別なルールというお話ですけれども、ちょっと現状では難しいという気持ちでございます。

【市長】 今回タウンミーティングさせていただいて改めて感じたのは、皆様方、海岸線の道で浅海難波線をできるだけ早く通りやすいようにしてほしいという話、そして私も存じ上げておりますけれども、今治の野間馬ハイランドの山のところからずっと伸びておりますけれども、ああいう道がもう一つあるんじゃないだろうかという、浅海地区の皆さんのお気持ちとして感じる事ができました。松山市の財政は中四国の中では比較的、健全財政かなと思います。でも、油断はできない状況と思っています。中学生で出てくるんかなと思いますけれども、今、国は残念なことに1千兆円という大きい借金を抱えているんです。でも、たちまち日本の国が潰れることではないので、それは安心してほしいんですけど、国から地方に地方税交付金とか国庫支出金という形で国から地方にお金が回ってくるんです。小学生の皆さんは仕送りってわかるかな。大学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんが大学に行くとしたら、家からお金を送ってあげるんよね。でも、今、仕送りと一緒に国がお金しんどいって言ったら、地方に回ってくるお金が

これから増えるとはとても考えられないんです。今まで頑張ってくれたおじいちゃん、おばあちゃんたちの数が増えよる。少子化とって、これから頑張って働いてくれる子どもたちの数は少なくなっている現状があります。なので、何をやらなければいけないか皆さんの声にしつかりと耳を傾けながらやらないといけないと思っ、タウンミーティングを重ねさせていただいているんです。確かにお金は厳しいですけども、だからとって何もしないのではなくて、やらなければいけないことはきちんとやる。でも、優先順位をしつかりとつけさせていただくために、皆さんの声にきちんと耳を傾けなければ、間違っははいけませんので、このようにタウンミーティング重ねさせていただいているところです。今日はいただいた意見をしつかりと受けとめさせてもらって、今、何をしなければいけないのか、しつかりと判断させてもらいたらと思っます。私から最後にお願ひですけども、確かにすぐにできない案件もあります。こうやって私もタウンミーティングをしていますけども、皆さんから「市長これやってほしい、あれやってほしい、これもやってほしい」と言われるんですけど、私も人間なので、「わかりました、それやりましょう。わかりました、これやりましょう。わかりました、これやりましょう」って言ったほうが楽ですけども、厳しい財政の中、どこの市町村もそうですけども、それやってしまうと、じゃあ誰がお金払うの、誰がツケを払うのっていうことになる、将来の子どもたちの世代になってしまうんです。ですので、将来の子どもにツケを負わせるようなことはできないので、しつかりと耳を傾けさせてもらって、やるべきことをしつかりとさせてもらいたいと思っます。すぐにできない案件はあるんですけども、どうぞ皆様方、市役所との距離が遠くなるのはよくないことです。「どうせ市役所に言うたって何も変わらんわい」と思われるとよくないので、どうぞ敷居を高くせず、市役所に総合案内がありますので、「この案件やったらこの課ですので電話を回します」ということができますので、「こういうことできんかな」と言っ、直接できなかつても、「こういうアイデアやったらありますよ」ということもできるかと思っますので、どうぞ敷居を高くせず、これからも市役所とお付き合いを願ったらと思っます。私は皆さんご存じのように一市民からこの立場をいただいた人間です。行政と皆さんの距離を近くしていきたいというのが私の思いでございます。今日は本当に長時間失礼いたしました。これからもまたご理解ご協力をいただけたらと思っます。本日は長時間にわたりましてまことにありがとうございます。

— 了 —